

未練再生

sunada

はっ、と目が覚めた。

薄暗い天井が見えて、体には体温と同じ毛布の重さを感じた。

体を起こすと、体の血がドクドクと走り出す、なぜか普段どおり起きた筈なのに違和感を覚えた。

ここは俺の部屋だ、だが何故ここにいるのか、この服を着て、このベッドに寝たという記憶が無い。

もしやと思い、体の節々を動かし状態を確認する。

いずれ、そうなるのではないか、そう思っていつも予期していた事だ。

伸ばした筋肉、柔軟さ、なにより古傷有無、そのすべてが自分の記憶と違う

既に結論は出てしまった。やっぱりそうか。ああそうなのか。

クローンか。

口に出したと思ったが、存外口は動かなかった。